

久保 逸洸 十七回忌追善

久保誠風会

令和6年3月17日(日)午前10時始

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 ☎092-715-2155

御入場無料・御来場歓迎

相原 一彦 還暦記念

相原和楽会



御挨拶

久保 誠一郎

早春の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。此の度、亡き父久保逸洸の十七回忌にあたり、春の会を追善会とさせて頂く事と相成りました。

今回は、森田流笛方相原一彦師の和楽会と共同開催とさせて頂きます。

誠風会は、初心者から熟練層まで幅広く能楽の探求に勤しんでおり、常に学ぶ気持ち大切にしております。

この機会に、福田このみ様に半能「井筒」、坂井英彦様に半能「融」を舞って頂きます。他に、素謡・舞囃子・仕舞・連吟と社中一同、今回の催しに向け懸命にお稽古に励んでおります。

皆様方には、御多忙の事と存じますが、是非ご来場頂き、御高覧賜りますようお願い申し上げます。



御挨拶

相原 一彦

日増しに春めいて参りました。

皆様方には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、観世流シテ方久保誠一郎師と共催で御社中発表会をさせて頂くことになり、身が引き締まる思いであります。

私が還暦の歳を迎えた事もあり、亡き師 森田光春先生から「和楽会」の名を頂き、杉市和先生からのお許しを頂戴しての開催となりました。

社中の皆様にとっては初めての発表会となりますが、日頃のお稽古の成果を存分に發揮して頂ければと思っております。

どうぞ皆様お誘い合わせの上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。

〈解説〉

半能「井筒」夜も更ける頃、僧が仮寝をしていると、夢の中に井筒の女の霊が現れる。夢の中の女は、業平の形見の冠・直衣を身に付け、業平を恋慕いながら舞い、さらには、井戸の水に自らの姿を映し、そこに業平の面影を見るのであった。やがて夜が明け、井筒の女は姿を消し、僧も夢から覚めるのであった。

半能「融」

旅の僧が都に着き、河原の院の旧跡を訪れる。そこは、左大臣源融の旧邸であった。僧が夜もすがら吊って待っていると、融の大臣の霊が現れ、楽しげに舞を舞い、月景色をめぐるうちに明け方となり、融の姿は月世界に向かうかのように消え去る。

番組

番外一管

豊後下り端

相原一彦

素囃子

(相原和楽会)
中ノ舞

大鼓 白坂信行
小鼓 飯富章宏
笛 岡田里央

(相原和楽会)
男ノ舞

大鼓 白坂信行
小鼓 飯富章宏
笛 江頭徹

素謡

(西日本文化サークル)
通小町

ツレ 松崎啓子
シテ 角臣子
ワキ 川床孟
地謡

宮本茂樹
久保誠一郎
山口剛一郎

素囃子

(相原和楽会)
中ノ舞

大鼓 白坂保行
小鼓 幸正佳
太鼓 田中達
笛 大堀真由
岩尾帆夏
安川真央

素謡

敦盛

シテ 重富英樹
ワキ 古賀美里
地謡

井内政徳
今村一夫
森本哲太郎
今村嘉太郎

紅葉狩

ツレ 宮下昌子
ツレ 田中妙子
ツレ 井前節子
シテ 中澤淑子
ワキ 岩坪信吉
地謡

久保誠一郎
今村一夫
山口剛一郎

楊貴妃

シテ

末永洋子

ワキ

池田祐司

地謡

井内政一 山口剛 山保誠一 久保茂樹 宮本茂樹

経正

シテ

御牧

忍

ワキ

岩坪信吉

地謡

多島法子 久島信輔 森本哲郎 今村嘉太郎

居囃子

(相原和楽会) 養老

水波之伝

大鼓 白坂保行 太鼓 田中達
小鼓 幸正佳 笛 甲斐智也

地謡

宮本茂樹 馬野正基 森本哲郎

(相原和楽会) 巻絹

絹

大鼓 白坂保行 太鼓 田中達
小鼓 飯富章宏 笛 江崎優子

地謡

多島法子 多島利之 齊藤信輔

(相原和楽会) 天鼓

バンシキ

大鼓 白坂信行 太鼓 田中達
小鼓 甲斐美奈子 笛 相原一彦

地謡

宮本茂樹 馬野正基 森本哲郎

仕舞

熊田船経放采

弁下

野村慶正僧女
クセ クセ クセ 小歌 キリ

御牧忍 田中妙子 井前節子 重富英樹 宮下昌子 末永洋子

地謡

井内政一 宮本茂樹 久保誠一 齊藤信輔

舞 囃子

屋

島

シテ 池田 祐司

大鼓 白坂 保行
小鼓 飯富 章宏

地謡

久保誠一郎
武富康之
森本哲郎
今村一夫

羽

衣

和合之舞

シテ 中澤 淑子

大鼓 白坂 信行
小鼓 飯富 章宏

太鼓 田中 達
相原 一彦

地謡

井内政徳
今村一夫
多島利之
久保誠一郎

花

(相原和楽会)

月

シテ 甲斐 智也

大鼓 白坂 信行
小鼓 幸正 佳

地謡

多島法子
馬野正基
齊藤信輔

半 能

(十三時半頃)

シテ 福田 このみ

井筒

ワキ 御厨 誠吾

大鼓 白坂 保行
小鼓 飯富 章宏

笛 相原 一彦

後見

多久島 法子
武富康 之

地謡

井内政徳 久保誠一郎
今村嘉太郎 馬野正基
宮本茂樹 多島利之
山口剛一郎 今村一夫

連 吟

櫻

(日田あじさい会)

川

鳥井 八千代 梅木 須賀子
権藤 美和子 将口 宏子
佐竹 邦恵 松浦 博子

富士太鼓

(相原和楽会)

大鼓 白坂 信行
小鼓 幸正 佳苗
原口 葉子

多島 利之
多島 誠一郎
久保 誠一郎

杜若

(相原和楽会)

恋ノ舞

大鼓 白坂 保行
小鼓 幸正 佳苗
太鼓 田中 達
甲斐 美奈子

齊藤 信輔
馬野 正基
宮本 茂樹

素謡

頼政

シテ 濱田 民生
ワキ 河野 寛利

地謡

井内 政徳
武富 康之
馬野 正基
久保 誠一郎

弱法師

シテ 菊池 典子
ワキ 久保 誠一郎

地謡

多島 法子
齊藤 信輔
久島 利之
今村 嘉太郎

芭蕉

シテ 井上 志げ子
ワキ 川床 孟

地謡

井内 政徳
久保 誠一郎
多島 利之
山口 剛一郎

仕舞

吉野天人

田辺 千代子

地謡

今村 嘉太郎
久保 誠一郎
山口 剛一郎

野守

古賀 美里
横山 兼太郎

江

口キリ 久保誠一郎

地謡

今村嘉太郎
武富康之
多利之
久島利夫

追加

半能

シテ坂井英彦

融

ワキ御厨誠吾

大鼓 白坂信行
小鼓 幸正佳
太鼓 田中達
笛 相原一彦

後見

多島法子
武富康之

地謡

井内政徳久保誠一郎
山崎藤信輔森本哲郎
山口剛一郎馬野正基

(終了予定)

十七時四十五分頃)

◎本日の素謡は左記の如く省略致します。

通小町

無し

敦盛

ワキいかにこれなるヨリ始め、クリ・サシ・クセ略

シテさても如月へ

紅葉狩

上歌馬より下りて略、クリ・サシ・クセ略

ワカへ 様ぞなきニテ終リ

楊貴妃

ワキありし教へヨリ始め、上歌ニツ略、クリ・サシ・クセ略ワカへ

経正

上歌殊に又略、上歌さればかの略、クセ略 地あら名残惜へ

頼政

ワキ道行略、地月こそ出づれ略、クリ・サシ・クセ略 シテ語へ

弱法師

ワキ頃は如月ヨリ始め、クリ・サシ・クセ略

芭蕉

ワキ既に夕陽ヨリ始め、シテサシ・下歌略、上歌燈火を略、クリ・サシ・クセ略 ワカへ

◎舞囃子・居囃子 謡出シ

養老

水波之伝

出端ヨリ・イロエ無し

巻絹

謹上再拜ヨリ

天鼓

パンシキ

打鳴らすヨリ

屋島

智者はヨリ

羽衣

和合之舞

君が代はヨリ

花月

君が代はヨリ

サシヨリ

富士太鼓

恋ノ舞

なおも思へばヨリ 楽アトキリこれまでなりやへ
普く濟度ヨリ 次第アト シテ花前に蝶舞へ

お稽古場案内

笛（能管）



〈講師〉相原 一彦

笛方森田流。重要無形文化財総合指定保持者。
昭和39年生。同志社大学卒業。大学一年目に森田光春師に入門。
昭和60年に玄人弟子となる。平成4年に森田師が亡くなり、
杉市和師に師事する。乱、石橋、道成寺など披曲。
30年以上京都を活動の場としていたが、福岡に移籍し、
九州一円で主に演奏を中心として活動中。

◎福岡

【稽古日】毎月2回 月曜もしくは土日

【場 所】森本能舞台（福岡市中央区警固3-8-1）

◎大分

【稽古日】毎月1回 土日

【場 所】コンパルホール（大分市府内町1-5-38）

【お問い合わせ先】090-5674-6872（相原）

仕舞・謡



〈講師〉久保 誠一郎

シテ方観世流。重要無形文化財総合指定保持者。
昭和46年生。公益社団法人能楽協会会員。誠風会主催。
幼少より久保逸洸（重要無形文化財総合指定保持者）の指導を
受ける。平成3年3月より大槻文蔵師（人間国宝）の内弟子とし
て入門。平成12年独立。
現在は西日本を中心に能楽の普及に努める。

◎福岡

【稽古日】毎月2回 木曜日

【場 所】森本能舞台（福岡市中央区警固3-8-1）

◎日田

【稽古日】毎月1回 曜日不定

【場 所】日田バスセンター近く

◎宮崎

【稽古日】毎月1回 月曜日

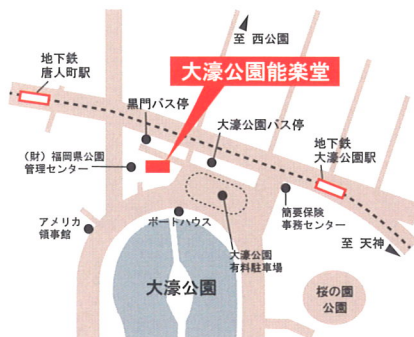
【場 所】MRT micc（宮崎市橋通西4-6-3）

◎鹿児島

【稽古日】毎月1回 火水曜日

【場 所】清水町公民館（鹿児島市清水町12-4）

【お問い合わせ先】090-1071-8864（久保）



〈大濠公園能楽堂へのアクセス〉

○地下鉄「大濠公園」駅(3番出口)より徒歩7分

○西鉄バス「大濠公園」または「黒門」バス停より徒歩4分

注)能楽堂には駐車場がございません。

大濠公園内および近隣の有料駐車場をご利用ください。